



そんなり通信

VOL.48

地域活動支援センターMネット 広報誌 H25年6月号

実施主体：特定非営利活動法人Mネット

場所：菊川市赤土 1660-1 TEL 0537-73-1020 FAX 0537-73-1034

お待たせしました！

地域活動支援センター赤土会場が変わります

一昨年の今頃、地域活動支援センターと相談事業所の本拠を赤土のブラジル人学校があった建物に引っ越し、月曜日・金曜日は出張所として『プラザけやき』と並行開催を行ってきました。しかし『プラザけやき』に慣れ親しんでいる方も多く、また交通の便がいいことから圧倒的に『赤土会場』を利用する方が少ないことが続てきました。

そこで今年度からサロンの開催方法を変更することにしました。前年度は、菊川会場（プラザけやき）では調理を、赤土会場では外出プログラムと決まっていたが、今年度は毎月交互に開催することにしました（開催内容等詳しくはセンターまでお問い合わせください）。

《新しいキッチン》

赤土会場は調理場が「けやき」よりずっと狭く、洗い場も1か所しかありません。新しく買い揃えた食器や調理道具の所在を確認しながら初使用致しました。こんな状況の変化にも、皆さん「けやき」で培ったノウハウで手間こそかかりましたが賑やかに無事行う事が出来ました。こうして回を重ねながら段々と使い勝手の良い場にしていければと感じました。

またキッチンの正面にあった今までになく広く明るい部屋を、皆で会食する場として、また日々の活動する部屋として利用できるようにテーブルと椅子を用意しました。また相談できる部屋としてこれまで地域活動センターとして使っていた部屋を専用にする予定です。



作業所と併設のため作業に精出す作業所利用者と交雑することもあり、決まった作業を行わない地活の利用者が『何となく居心地が悪い』と感じていた方もいましたが、これからは作業所と明確に活動場所をより独立することでその遠慮も減るかと思えます。また入口も別に南側にすることも可能で、使い勝手が広がった幸いです。

今後も『集いの場』として『憩いの場』として活用しやすいように皆さんと共に作り上げていければとスタッフは考えております。ちなみに居心地の良い場となるよう『飲み物・音楽・本・ゲーム・パソコン・その他』も増設する方向で考えています。いろんな方々のご協力をお願い致します。



見学は可能です。

予約制となっておりますので、まずはご連絡ください。
電話：0537-73-1020（担当：鈴木・原田・倉橋）

サロン活動

H25.5.17 (金) 菊川サロン (掛川城見学)

菊川市から近い故にあまり訪れないという掛川城へ行ってきました。公的機関であるため障害者手帳を提示する事で皆が無料で入場する事が出来ました。場内に入ると驚くのは設置してある階段がとても急な事です。昔の造りためと思われそうですが、手すりがついているため全員上ることが出来ました。天守閣からの眺望は城下を見渡すためのものであるため天候にも恵まれ広く掛川の町を見回すことが出来ました。



H25.5.21 (火) 小笠サロン (団子作り)

今月からは小笠赤土会場で調理を行うことになりました。赤土会場は、これまで行っていたプラザけやきのように設備が完備されていませんが、賑やかな中無事行う事が出来ました。肝心の団子は毎年その作成に苦勞するところですが、今年は白玉粉から作る事にしてきな粉を掛けることにしました。中々の出来で作業所工房オアシスの面々にも好評でした。

6月のコラム・コラム

地域活動支援センターM ネットでは5月から週1回、レクリエーション活動を始めました。センターを利用しているメンバーさんに声をかけて参加者を募って、近隣の公園や景色のよい場所などを訪ねてみることにしました。



とりあえず、青い海を見に行こうということで5月の某日、御前崎海岸に出かけました。爽やかな潮の香りで深呼吸して、記念撮影を行いました。その後、なぶら市場に寄ってお土産などを捜してみました。

市場の中をウロウロしていると、新鮮なカツオが並んでいました⇒⇒この時期、旬の魚といえばカツオです。新鮮なカツオの刺身の薬味といえば生姜です。普通、マグロなど刺身の薬味はワサビですが、何故かカツオは生姜で食べる人が多いようです。カツオを生姜で食べる理由については、独特の臭みを取るためと答える人が多いと思いますが、それとは別の理由もあるようです。それは、ワサビの旬は11月から翌年1月で、ワサビの花が咲く4月末から7月はワサビの風味が弱くなってしまおうそうです。そのため初夏の時期に美味しくなる、あじやいさき、カツオを生姜で食べるようになったそうです。



さて、美味しい旬のかつおの刺身を、生姜でいただきますか。